



亀山市名誉市民

彫刻家 中村 晋也

作品介绍「ふるさとあい」Vol.62

「風の中の少女」昭和51(1976)年制作

突然の風に、吹き飛ばされそうになった麦わら帽子を、両手で押さえるTシャツ姿の少女像。真夏のまぶしい太陽の光や、大空を吹き抜ける爽やかな風までも感じさせるこの作品は、その後数多く制作する少女像シリーズの先駆けとなった作品です。子どもでもなく大人でもない、みずみずしくピュアな少女たちの時間を一瞬だけ切り取って、その時代特有の心情や情景を表現していく、それは作家にとって夢みるような制作のひとつです。風の中の少女は、始まったばかりの夏の陽を浴びて、緑の庭に立っています。



136cm(高さ)×40cm(幅)×25cm(奥行)
中村晋也美術館

特別協力 (公財)中村晋也美術館 [URL http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html](http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html)



情報交流ひろば
となりまち



伊賀市

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎
夏通常展「伊賀に暮らして-種月明の身近な風景-」

伊賀にアトリエを構えた水墨画家・種月明(1929-2017)が描いた近郊の風景や日常の情景を中心に、作品をスケッチした場所の写真なども展示して、種月明の視線に迫ります。画家が観た美しい伊賀をお楽しみください。



とき 8月22日(日)まで
午前10時~午後4時30分(最終入館:午後4時)

休館日 火曜日

ところ 伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎
(伊賀市別府718-3)

観覧料 一般 300円(高校生以下無料)

問合せ

○伊賀市文化交流課 ☎0595-22-9621

○青山讃頌舎 ☎0595-52-2100



伊賀市広聴広報課(☎0595-22-9636)

甲賀市

「甲賀の前挽鋸」と
その資料群が林業遺産に!

かつて全国の山林で使われた大型の製材鋸である「甲賀の前挽鋸」とその関連資料が、林業遺産に認定されました。



甲賀地域は森林資源が豊富で、古くから良質な木材の産地として、東大寺の造営などにかかわってきました。このような地域性を背景に、木にかかわるなりわいが発達し、その一つとして前挽鋸の生産が行われ、明治・大正期には一大産地として全国的シェアを獲得しました。

しかし、昭和に入ると機械製材が普及し、昭和20年代末を境に前挽鋸の需要が急速に減少することとなりましたが、のこぎりの製造技術や木の伐採、製材の技、そして木挽とよばれる職人たちの誇りと魂は、後世にも伝えていきたい郷土の文化です。

今回、認定された前挽鋸や関連資料については、「甲南ふれあいの館」で展示を行っています。

問合せ 甲南ふれあいの館(☎0748-86-7551)

甲賀市秘書広報課(☎0748-69-2101)